

## JESCO における PCB 廃棄物の長期的な処理の見通しの概要について

国の PCB 廃棄物処理基本計画においては、PCB 廃棄物の数量について公表され、今後の処理の進捗により、PCB 廃棄物の発生量、保管量及び処分量の見込みは常に変動することから、毎年度見直し、その結果を公表することとされている。

また、基本計画における JESCO の役割として、各拠点の広域処理施設における計画的処理完了期限までの高濃度 PCB 廃棄物の処理の見通しについて毎年度公表することとされ、また処分期間内又は特例処分期限日までの処分委託が円滑かつ迅速に行われるよう、長期的な処理の見通しを明らかにすることとされた。

JESCO においては、これを受けて長期処理の見通しについて検討を行い、各事業部会等において順次議論をいただいているところである。

なお、各事業の長期的な処理の見通しの詳細については、「長期処理計画」として本年度末に再度報告する。

そして、次年度については、平成 29 年 10 月に開催された「第 23 回 PCB 廃棄物適正処理推進に関する検討委員会」において、長期的な処理の見通しの迅速な公表のため、経済産業省・環境省・都道府県市・JESCO のとりまとめ作業の前倒しが決まったことを受け、前倒し作業を考慮して作成する予定である。

### 1. 長期的な処理の見通しの作成の考え方

事業ごとに平成 29 年 10 月の JESCO 登録量や平成 28 年 3 月末の PCB 特措法・電気事業法で届出済みながら JESCO へ未登録の数量等を求め、計画的処理完了期限までの処理の見通しを整理した。

### 2. 見通しについての報告状況

#### ○北九州事業

平成 29 年 6 月 22 日 北九州 PCB 処理事業部会にて報告

平成 29 年 7 月 11 日 北九州市 PCB 処理監視会議にて報告

#### ○豊田事業

平成 29 年 12 月 12 日 豊田事 PCB 処理業部会にて報告

平成 29 年 12 月 21 日 豊田市 PCB 処理安全監視委員会にて報告

#### ○東京事業

平成 29 年 11 月 13 日 東京 PCB 処理事業部会にて報告

平成 29 年 12 月 12 日 東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会にて報告

#### ○大阪事業

平成 30 年 2 月 9 日 大阪 PCB 処理事業部会にて報告予定

平成 30 年 2 月 28 日 大阪 PCB 廃棄物処理事業監視部会にて報告予定

#### ○北海道事業

平成 30 年 1 月 29 日 北海道 PCB 処理事業部会にて報告予定

平成 30 年 2 月 15 日 北海道 PCB 廃棄物処理事業監視円卓会議にて報告予定

### 3. 各事業ごとの見通しの状況

事業名	処理完了	概況
北九州事業	計画的処理完了期限内に終了する見通し。	大型及び車載トランス（北九州エリア）については、計画的処理完了期限の 1 年前には終わる見通し。小型トランス、車載トランス（豊田エリア）コンデンサ、安定器、その他物については、計画的処理完了期限まで処理を行う見通し。 注）詳細な見通しについては資料 1・2 に記載。
豊田事業	計画的処理完了期限内に終了する見通し。	小型トランスについては、計画的処理完了期限まで処理を行う見通しであるが、それ以外のトランス（大型、車載トランス）、コンデンサ全て計画的処理完了期限の 1 年前には終わる見通し。
東京事業	計画的処理完了期限内に終了する見通し。	小型トランスについては、計画的処理完了期限まで処理を行う予定であるが、それ以外のトランスは、計画的処理完了期限の 1 年前には終わる見通し。コンデンサについては、計画的処理完了期限まで処理を行う見通し。
大阪事業 ※ 1	計画的処理完了期限内に終了する見通し。	大型・小型トランス、コンデンサについては計画的処理完了期限まで処理を行う見通し。地域間移動で受け入れる車載トランス（豊田エリア）、特殊コンデンサ（北海道・豊田エリア）は計画的処理完了期限の 1 年前には終わる見通し。
北海道事業※ 1	計画的処理完了期限内に終了する見通し。	トランスについては、計画的処理完了期限の 1 年前には終わる見通し。コンデンサ、安定器等については、計画的処理完了期限まで処理を行う見通し。

※ 1 大阪事業、北海道事業については、平成 28 年度第 2 回 PCB 廃棄物処理事業検討委員会にて報告した見通しを使用している。

### 4 見通しの作成時期の見直し

平成 29 年 10 月に開催された「第 23 回 PCB 廃棄物適正処理推進に関する検討委員会」において、PCB 廃棄物の長期的な処理の見通しについての今後の方針の検討が行われ、高濃度 PCB 廃棄物の処分期間が切迫する中、長期的な処理の見通しを迅速に更新することは進捗把握の観点で重要との認識のもと、環境省、経済産業省、都道府県市及び JESCO が連携し、これを前倒しで行うことが定められた。

現在、上記の実現のため、環境省と連携し作業を行っているところである。（本年度の作成時期のイメージは、別紙 1 参照。）